

II. 組織基盤の強化

(1) 効果的な広報・PR 活動の実施

○機関紙「大商ニュース」の発行

本会議所の活動を広報するとともに、経営に役立つ情報を会員に提供するため、機関紙「大商ニュース」を20回発行した。「たんと繁盛 大阪アクション」に関する事業や「シンポジウム『関西の未来』」を特集し、その成果を共有した。また、会員の事業参画を促進するため、事業利用会員の生の声を掲載した「大商事業でたんと繁盛」を連載したほか、「がんばる大商の会員さん」「初めまして！新入会員です」「会員情報プラザ」「日本一明るい企業情報」を連載し、会員企業を紹介した。

○「たんと繁盛 大阪アクション」に関するシンポジウムの開催

中期計画「たんと繁盛 大阪アクション」を推進するとともに、大阪・関西の成長の方向性や具体方策を議論するため、全4回(4・7・9・12月)の連続シンポジウム「関西の未来」を㈱日本経済新聞社と共催した。

[成果・実績] シンポジウムには延べ617人が参加した。



4月、シンポジウム「関西の未来」を㈱日本経済新聞社と共催し、尾崎裕本会議所会頭らが「日本の成長戦略の中での大阪・関西」をテーマに討論。158人が参加した。

○Eメールを活用した広報(大商メールステーション)とホームページの拡充

企業や個人の関心事項に応じて本会議所事業を効果的に案内するため、「大商メールステーション」を運営し、Eメールによる案内配信サービスを実施した。また、ホームページのトップページ、支部ページを改定し、本会議所事業のタイムリーな情報提供を行った。

[成果・実績] 「大商メールステーション」の登録者数は3万8,162人、ホームページの年間総ページビューは2,173万9,023件になった(URL=http://www.osaka.cci.or.jp)。

○大阪活力グランプリの実施

大阪のチャレンジ精神、パイオニア精神の発信・高揚を目的に、大阪の産業・地域経済に貢献した法人・団体・個人を会頭名で表彰する「大阪活力グランプリ」を実

施した。マスコミ各社からなる選考委員や本会議所役員・議員から推薦があった36候補から選考委員会で12件に絞り込んだ上で、投票を行い、12月にグランプリを選出した。

[成果・実績] グランプリに「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」、特別賞に「近畿大学」を選出し、12月の会員交流大会で表彰した。



12月、大阪活力グランプリ2017に「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」、特別賞に「近畿大学」を選出し、表彰した。

(2) 会員満足度向上に向けた取り組み

○会頭の支部・企業訪問

尾崎裕本会議所会頭は、支部や会員企業を訪問し、現場の関係者と意見交換した。千林、駒川、粉浜の3商店街では、ネット販売にも積極的に取り組む呉服店(東住吉区)や創業90年を超えた老舗文具店(旭区)、オーダーメイドの下駄・鼻緒を取り扱う履物店(住之江区)等を視察するとともに、商店街理事長らと各地域の状況について懇談。継続的な魅力向上策や、空き店舗対策、個店の後継者対策等について意見交換した。

[成果・実績] 会員企業等9か所を訪問した。



5月、尾崎裕本会議所会頭は、呉服店(駒川商店街)を訪問した。

○会員満足度向上運動の推進

事業の価値を共有し、会員満足を向上することによって、安定的な3万会員体制を維持するために、事務局による会員訪問活動や小規模交流会「ふらっと」等の会員交

流事業を行った。

[成果・実績]新規加入件数 2,449 件に対して、退会件数が 2,594 件となり、平成 29 年度末の会員数は、前年比 145 件減の 3 万 683 件となった。新規加入件数の内訳は法人会員 871 件、団体会員 34 件、個人会員 1,172 件、特別会員 372 件。

○会員訪問活動の実施

事業利用の促進と本会議所への満足度の調査を目的として、入会歴の浅い会員や事業利用者を主対象に会員訪問活動を実施した。併せて、本会議所の活動や事業への意見を聞き、事業運営に反映するとともに、講演会・セミナー・交流会等への参加や、サービスの利用を促進した。

[成果・実績]事務局職員の会員訪問件数は 4,355 件(目標 4,000 件)。平成 15 年度から実施している会員訪問活動による訪問累計件数は、延べ 6 万 3,603 件に達した。また、会員の平均満足度は 5 段階で 3.87 となった。

(3) 組織基盤の強化に向けた交流促進

○女性会の活動

本会議所会員企業の女性経営者の資質向上と会員相互の交流を目的に、会員自らが講師となり自らの半生や経営者としての経験を発表する「経営事例発表会」(10・2月)や、視察研修会、各地女性会との交流事業を実施したほか、中国知密女性創業コミュニティと活発に交流した。また、広報誌を年 2 回(6・12 月)発行するとともに、1 月に新年互例会を開催した。さらに、平成 30 年に創立 60 周年を迎えるにあたり記念式典実行委員会を発足させ、実施内容を企画・検討した。

[成果・実績]会員数は 234 人になった。「経営事例発表会」には延べ 202 人、視察研修会には 34 人が参加した。



1 月、本会議所女性会新年互例会を開催し、137 人が出席した。

○定例見学会の開催

会員企業の経営者・経営幹部を対象に、企業・工場の見学や見学先代表者、経営幹部の講話を通じて、見聞を広げ研鑽と交流を深める場として定例見学会を開催した。

[成果・実績]ビール工場、水族館の見学会を 2 回開催し、延べ 66 人が参加した。

○定例朝食懇談会の開催

本会議所役員・議員を中心に会員企業の経営者・経営幹部を対象に、早朝の時間を活用した定例朝食懇談会を開催した。

[成果・実績]国際情勢、経済情勢、モノづくり、企業経営等幅広い分野から講師を招聘、10 回開催し、延べ 1,073 人が参加した。

(4) 議員選挙・選任の円滑な実施

○議員の改選

本年度は議員(定員 150 人)の改選期(任期 3 年)であったことから、5~7 月に、各部会で 2 号議員(定数 52 人)を選任した。また、3 号議員(定数 22 人)を 7 月の通常議員総会で選任した。さらに、10 月に 1 号議員選挙を行い、会員・特定商工業者の投票によって 76 人を選んだ。今回は定数 76 人に対して 78 人が立候補し、投票総数は 10 万 6,961 票、投票率は 54.7%であった。

○役員の改選

新議員選任後、11 月に開催した臨時議員総会で、任期満了に伴う役員の改選を行い、尾崎裕氏(大阪ガス(株)会長)を会頭に再任した。また、副会頭は、西村貞一氏(㈱サクラクレパス会長)、古川実氏(日立造船(株)相談役)、手代木功氏(塩野義製薬(株)社長)、鳥井信吾氏(サントリーホールディングス(株)副会長)、小林哲也氏(近鉄グループホールディングス(株)会長)の 5 人を再任し、新たに立野純三氏(㈱ユニオン社長)、東和浩氏(㈱りそな銀行会長兼社長)の 2 人を選任した。また、専務理事(1 人)を再任したほか、常議員(50 人)、監事(3 人)を選任した。